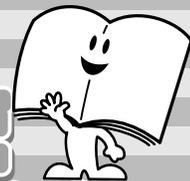




甲賀市図書館 だより



らびびりん
その1

このコーナーでは
図書館と本について
紹介していきます。

◀ 水口図書館創立当時の
閲覧室 (旧水口図書館)

第1回目は 「滋賀県の図書館事情」です。

市内には5つの図書館があり身近なものと感じていただいているのではないのでしょうか。

現在では読書環境が整備されている滋賀県ですが、昭和50年当時、県内の公共図書館は県立図書館のほかに水口町立(明治42年創立)と彦根市立(大正5年創立)の2館があるのみでした。

図書館の設置率が飛躍的に増加した背景には県(武村正義知事)が昭和56年度から実施した「図書館振興策」があります。

この振興策では「図書館建設のための施設整備補助」「移動図書館車の購入補助」「図書購入補助」が行われました。その結果、滋賀県の市町村における図書館の設置率は87.8%(平成17年4月現在)となり、これを全国の62.8%(同)と比較すると非常に高いものとなっています。

また滋賀県の市町村立図書館の活動において県立図書館からの協力と支援は大きな支えとなっています。

県立図書館は昭和56年度には資料を搬送する「協力車」の運行を開始、昭和60年度にはオンラインによる書誌情報の提供・予約受付を開始しました。これにより市町村立図書館が自館で対応できない資料についても迅速に提供することが可能となりました。

このように滋賀県では県立図書館と市町村立図書館が協力し、利用者の皆さんにより良いサービスが提供できるよう努めています。

問い合わせ

水口図書館	☎ 63-7400 FAX 63-4737
土山図書館	☎ 66-1056 FAX 66-1067
甲賀図書情報館	☎ 88-7246 FAX 88-7005
甲南図書交流館	☎ 86-1504 FAX 86-1505
信楽図書館	☎ 82-0320 FAX 82-3921

みんなの窓

★今月から「みんなの窓」に市民の皆さんから
寄せられた人権標語と絵画を連載します。



甲南高等学校 浦谷麻希 さん

問い合わせ 人権教育課
☎ 86-8024 FAX 86-8380

陽のひかり みんな平等に 輝ってる

甲賀町毛枚 辻 實千代さん

皆さん、一緒に人権について学びましょう。
おかしなと思うけれど「昔からそうしているから」「みんながそうするから」と行動してしまっていることではないでしょうか？
「わたしひとりが声を上げても何もかわらない」とあきらめてしまっていることはないでしょうか？
部落差別をはじめ、すべての差別は、人によってつくられたものです。それなら、人によってなくなっていくことができるはずですよ。
「わたしは、部落差別をしていないから、わたしには関係ない」という人がいるかもしれません。しかし、差別落書きや差別発言が今、起きているのです。
Qさん「そっとしておいたら、そのうちに差別はなくなるのでは……」
Aさん「うそや、差別はなくならへん」
Qさん「なぜなくなるならいなの？」
Aさん「差別をする土壌があるからです。行動するのは今、学ぶのは今なんです。」
市では、年間を通して学習機会の提供やイベントを計画していますので、気軽に参加ください。一緒に人権について学びましょう。

こんにちは！ 人権教育課です。